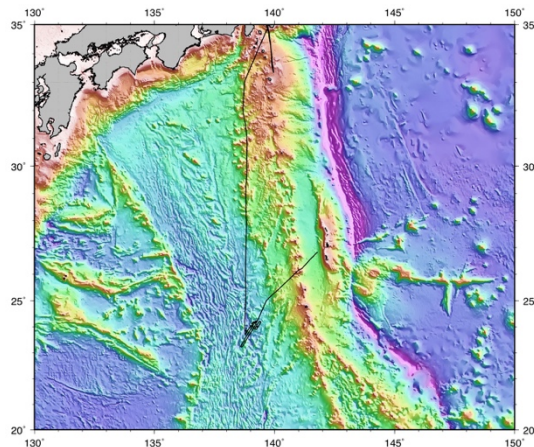


クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 YK18-07
- 船舶名 よこすか
- 航海名称 海洋地殻生産プロセスの時間変動を背弧拡大系トランスフォーム断層で追う : MOWALL-PVB
- 首席研究者 [所属機関] 沖野郷子 [東京大学大気海洋研究所]
- 課題代表研究者 [所属機関] 沖野郷子 [東京大学大気海洋研究所]
- 航海期間 2018年6月14日-6月24日
- 出港地～寄港地～帰港地 横須賀～二見
- 調査海域名 四国海盆南端
- 調査マップ

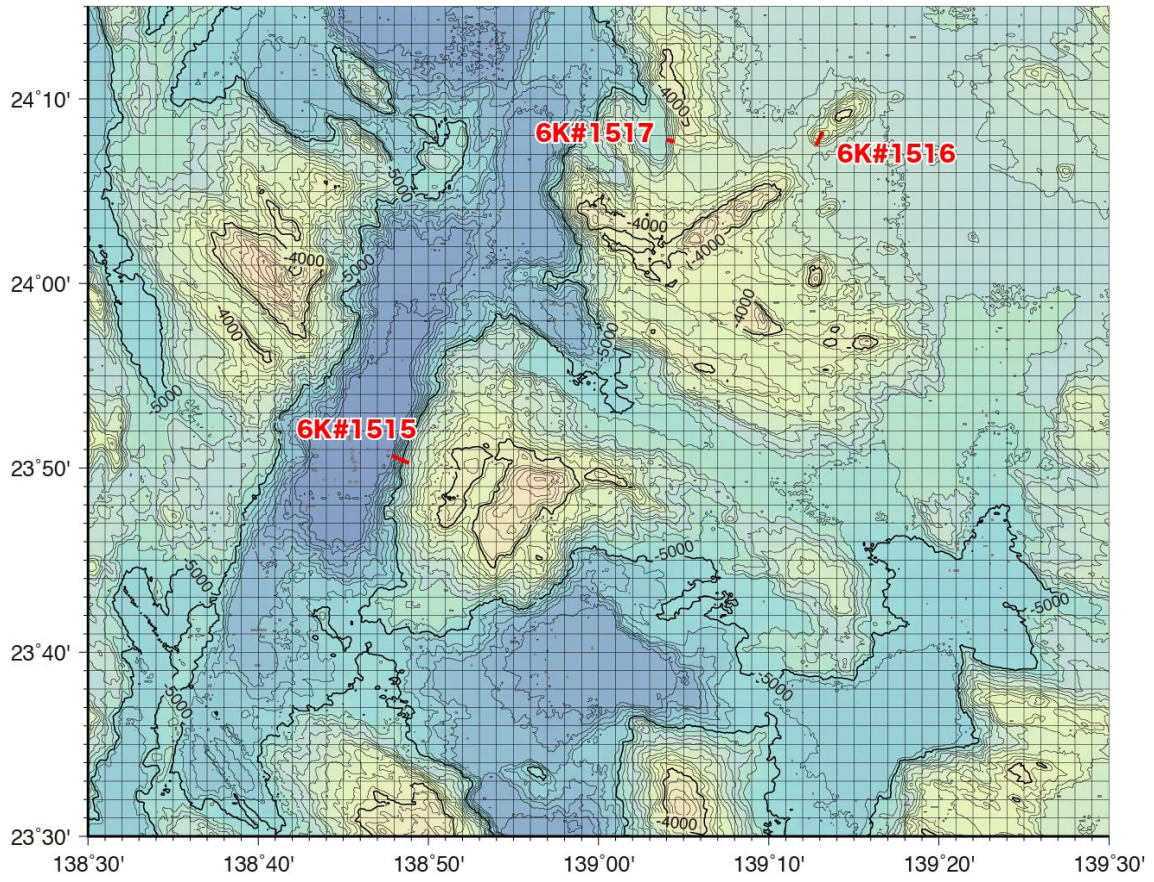


2. 実施内容

● 調査概要

[調査の目的] MOWALL: Moho Observation along transform fault)の一環として、パレスベラ海盆中軸部の海洋コアコンプレックスおよび平滑海底に面したトランスフォーム断層崖の調査を行う。しんかい潜航調査およびよこすか地球物理探査により、1) 地殻および上部マントル物質の組成変化と(2)地殻の厚さの変化を検出し、海洋地殻生産プロセスの数十万～数百万年スケール時間変動を明らかにする。

[調査概要] 当初は、パレスベラ海盆中軸部のパレスベラリフトにおいて潜航調査を4回実施する予定であった。出航後、海況の悪化により避泊を余儀なくされたため、天候予備海域である四国海盆南端部の海洋コアコンプレックスを目指すこととした。しかし、自衛隊より調査地点および時期の制限を受けたため、やむを得ず海洋コアコンプレックスで1回、近傍の急崖と起源不明の小規模火山体で各1回の合計3回の潜航調査を行い、背弧海洋地殻の多様性について調査を行った。潜航地点は下図の通りである。



Locations of 6K-1515, 1516 and 1517 in southernmost Shikoku Basin.